



# いちはし修治

## 道政だより

2020年  
春 号

No.38

立憲民主

公報代民主編集部  
〒102-0089  
東京都千代田区平河町  
2-12-2 ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301  
Fax. 03-6811-2302  
gokoku@cdp-japan.net  
http://cdp-japan.jp/

二月一七日に開会された、第一回定期道議会は、新型コロナウイルス肺炎により大幅な日程の変更を余儀なくされたものの一般会計一兆八千億円、特別会計一兆一千億円の計三兆九千億円可決、加えて一五六〇億円の一般会計補正予算も追加し、三月一五日に閉会しました。

知事は、冒頭に新型コロナウイルス肺炎について触れ、「日本でも深刻な状況にあるとした上で、オール北海道で取り組む」と決意を述べました。知事は開会日の道政執行方針の中で道政に臨む基本姿勢として①将来を見すえ世界に羽ばたく道政②連帯の力で困難を乗り超える道政の一つを述べ、重点政策の展開では

「4つのc」、chance,challenge, cooperation,creationを挙げ、「地域の発展なくして北海道の未来なし」など五〇分にわたり方針を述べました。

また教育長は教育行政執行方針の中で、①子どもたちが学力・体力の向上をはじめ、質の高い教育を受けること。②地域創成を支える教育行政の推進の



新型コロナウイルス関連肺炎について～(2月18日)  
万全な対策を求める緊急要求書提を提出！

例道議会は、新型コロナウイルス肺炎により大幅な日程の変更を余儀なくされたものの一般会計一兆八千億円、特別会計一兆一千億円の計三兆九千億円可決、加えて一五六〇億円の一般会計補正予算も追加し、三月一五日に閉会しました。

学びができるよう支援体制を整備。教員確保の取り組み強化や学校における働き方改革を確実に進めるとしました。

しかし、知事にとつて最初の予算編成であるものの、新鮮味、鈴木知事らしい政策予算是見られず、高橋道政の継続ばかりが目立ちます。加えて予算の不足額は二九〇億円、道債残高（借金）も六兆円に迫る厳しい財政状況も懸念されます。

成り立つべき道政執行方針は、新鮮味、鈴木知事らの政策予算は見られず、高橋道政の継続ばかりが目立ちます。加えて予算の不足額は二九〇億円、道債残高（借金）も六兆円に迫る厳しい財政状況も懸念されます。

- A. 知事が渡島管内出張のため中野副知事に要求書を手交。迅速、正確な情報公開、予防衛生の徹底、医療従事者などの安全確保、観光業者に対する「減収補填制度」の創設を国に求める事。などを要請した。
- ①北海道の「ロードマップ」のスタートとなる年と知事は述べたのだが：A. 北海道は人口減少、少子高齢化という大きな課題を抱えている。成功の連鎖を創り、北海道の発展のため自らがフロントランナーアーとして頑張る。
- ②北海道一五〇年事業の「キタデミー賞」をはじめ公金不適切処理が続きましたが：
- A. 法令順守の意識、危機管理意識が不足している。新年度から実施する内部統制制度をもつてコンプライアンス順守に努める。
- ③泊原発災訓練は参加者の減少、マンネリが指摘されていますが：A. 多くの住民が参加できるよう体験開催も検討する。

# 第一回定期会はコロナウイルス肺炎により大幅に審議を縮小！ 一兆八千億円余の新年度一般会計予算を可決！

**(4)自治体との連携が大事と指摘されていますが：**

A. 自らが地域に出向き、市町村長と率直に意見を交わすこと、加えて振興局を中心に「地域づくり連携会議」を活用して連携を強化していく。

**(5)地域医療も「働き方改革」が急務ですが：**

A. 地域医療の確保は最重要課題。医師の地域枠の拡大や急性期機能の集約化や病院の統廃合を進めていく。

**(6)IRは断念したのでは？**

A. 七年後の見直しの向け、北海道らしいIRのコンセプトづくりを目指し、計画性をもつて準備する。そのために担当を課長配置。

**(7)宿泊税について道はどう考えていますか？**

A. 懇談会で意見を頂いている。市町村と重複しない制度、過重とならない税額を目指し「道の税額を一律一〇〇円、それに市町村の税額を設置」が望ましいとの意見を頂いたところ。今後議会議論や市町村と協議して方針化する。

**(8)「就職氷河期世代対策」はどう進めますか？**

A. 不本意な非正規雇用の方、無職の方などに、道は前職を不問として採用試験を行う。「就職支援プラットホーム」を四月に設置し

活躍促進を。

**(9)幌延深地層研究の九年間延長に知事が合意？**

A. 九年間の研究が必要。再延長があるとは考えていない。仮に再延長の協議があつても認めない。

**(10)教職員の超緊縮減のための「給特条例」がこの一定で可決したのですが：**

A. 教育委員会規則を改正し、「月四五時間、年間三六〇時間を

## 知事への「二〇二〇年度予算編成及び道政執行に関する要望・提言」について（抜粋）一月三日

上限とする超過勤務が実施されます。次年度からは一年間の変形労働時間制度が実施されます。業務の縮減はこれまでのアクションプランで実現する。

**(11)少人数学級の対象が広がります**

A. 国の加配を利用します。令和三年には小学校四年まで全て三五年学級になります。新学習指導要領の実施に合わせ、きめ細かな指導の実現が狙いです。



こと。  
・新型肺炎の感染拡大防止のため、国や関係機関と連携し、万全の対策を取ること。

・労働条件や労働環境の改善を進める

こと。  
・TPPなど国際貿易協定による本道への影響について道はしっかりと把握・検証し、必要な対策を国に求めること。

・幌延新地層研究センターについて「研究期間の延長容認」は撤回し、改めて第三期中長期計画通り決定・公

・観光振興税（宿泊税）は多様化する観光需要に対応するための財源確保に向けて導入を急ぐべきである。

**(8)（エネルギー政策）**

・脱原発のプロセスを明らかにし、新エネルギーのベストミックスを構築すべき。

・IRについては未だギャンブル依存症や環境悪化の懸念が解決しない。また道民の多くが反対していることより断念すべきである。

**(7)（観光産業の振興）**

・日本海漁業の持続的発展のため、資源管理方策やトドなど海獣対策、栽培漁業対策など実効ある対策を講じること。

**(5)（地域交通など）**

・JR北海道の経営再生と道内鉄道網の維持は、国の責任で維持すること。  
・運送業では運転手不足が進行。長時間労働の改善や適正な賃金水準維持など労働条件の改善を進めること。  
・高齢化や人口減少に伴つ「買い物弱者」のため、移動販売や宅配サービスの展開など事業者との連携のもと対応策を講ずること。

**(6)（農林水産業の振興）**

・TPPなど国際貿易協定による本道への影響について道はしっかりと把握・検証し、必要な対策を国に求めること。

表するよう求めるべき。

⑨ (地域の防災・減災) 既存施設の耐震化や津波対策を早急に進めるとともに、非常時における自治体間の相互支援体制の整備を進めるべき。

⑩ (教育の機会確保)

・ 豊かな教育を保障するため、教職員の「真の働き方改革」を進めるとともに、少人数学級を拡大し、教育課程の弾力化や学校裁量権を保障すること。

・ 高校が募集停止となつた地域への影響を検証し、「望ましい学校規模・四八学級」を抜本的に見直すこと。  
・ 私立学校等管理運営対策費補助金の北海道単独措置額を増額すること。

議会の不思議シリーズ(37)

最初で最後の経験かもしない！

中国武漢で発生した新型コロナウイルス肺炎は短期間で日本中、世界中に蔓延しました。二月に道教委は道内全小中学校に休校を要請したのは唐突ともいえる思い切った措置でした。

道議会も二月二七日から新年度予算

を審議する第一回定例道議会が予定さ

れていましたがその前日、一齊委員会の日、突然道議会も他の組織や団体が

肺炎の感染防止のため極力、会合や集会を避けているのに道議会だけが通常

どおりではまずい、として知事が道政執行方針を説明した後、一般質問をや

めて三月十日まで議案審議という名の

二週間に及ぶ休会日とすること。そして予算特別委員会も委員数を三分の一に縮小して審議することになりました。

確かに新型肺炎は恐ろしく、一日も早い終息を願うのですが、三兆円にも及び新年度予算の審議を中途半端に行つて終わりでは余りにも不安です。

私は、当面は給与費などどうしても当面必要な経費のみの審議にとどめ、政策予算は別途臨時議会を開催して論議し、決めるべきと主張しましたが実現しませんでした。こんなことは、私が道議会にかかわって初めてのことであり二度とないほうがいいのですが。

## 会派での道外視察で九州へ

### 1月14日

大分県杵築市を訪問。

杵築市の重要伝統的建造物群保存地区築城下町を視察。杵築城下の街並みを資料館のジオラマで説明頂いた後、阿南学芸員の案内で「塩屋の坂」

「塩屋の坂」など街並みを上へ下へと視察した。

### 1月15日

肥薩オレンジ鉄道（熊本県八代市）で、三セクの苦労を学ぶ。

第三セクターとしの経営は16年にも。人口減や自家用車の普及で厳しい経営状態を出田社長をはじめ五人の方から聴取。この後、薩摩川内市まで乗車したが、総務次長の永井氏が同乗下り、車内で引き続きのレクチャーを頂いた、感謝！感謝！

### 1月16日

近畿大学鹿児島県水産研究所花天事業所を訪問

マグロの養殖研究では先達の近畿大。この日は花天の生け簀で餌やりを海上で見ながら八木場長代理から海上でマグロ養殖の現状などの講義を受けた。

## 2度目の黒竜江省への派遣 (11月12日～16日)

三十年以上も北海道と友好提携する中国最北の黒竜江省を三十年ぶりに訪問しました。まずは中国の近代化と

満州事変の勃発地でかつて奉天と呼ばれた遼寧省の省都ハルピン、

今回は黒竜江省の省都ハルピン、

世界一と豪語するハルピンの室内スキー場(全長500m、高さ80m)にて

大連の日本領事館前にて

北洋水兵の墓碑にて



北海道商工連盟の交流晚会in札幌。  
道内各地の中小企業家との意見交換の  
後、交流晚会と銘打つての忘年会。挨拶をさせて頂いた。



グランヒラフで安全祈願祭が挙行さ  
れる。あまりに雪が少なくオープンは二週間ほど延期された。海外からの  
スキーヤーも「雪請い」か?



翌日、渡島管内では、函館ワイン、道の駅しかべ、函館市縄文文化交流センターを視察。夜には渡島管内の首長や観光関係者などによる意見交換会を開催した。



仁木消防団出初式が盛大に挙行!  
正月にしては雪が少なく、よい年のスタート。元気のよい分団行進が続く。今年も火事や災害の無い一年でありますように!



赤井川商工会の新年会、和やかに行われる。恒例の新年交礼会、私にとって新年初めての新年交礼会だ。雪も少なく穏やかな中で馬場新村長の決意がにじむ挨拶を頂く。



余市郡漁協の初セリ。  
天候にも恵まれず入荷少ない。  
でも威勢のいい声が響いた。  
私にとっては新年の風物詩だ。

1/2



恒例の余市町新春街宣。  
例年のように余市町議の土屋、岸本、山本の三議員さんらと町内各所で新年の初の「主張」を行う。



俱知安町「はたちの集い」煌びやかに開催される!

50年前の自分と比較するわけではないが、着物姿にはかま姿、きりっとした背広姿と全く頼もしい!これからは山あり谷ありの道が待っている。健闘を祈る!



連合北海道との政策懇談会

毎定例会ごとに開会日初日、朝八時から開催する。会派役員会からは当該議会の主要テーマを報告し、連合北海道からは活動報告等頂き意見交換をする、勿論、その中から代表質問などに挿入されるものもある。



余市商工会議所の新年交礼会、盛大に行われる。余市を支える皆さんが沢山集まる新年交礼会。景氣の先行きも懸念されるのだが良い「ねずみ年」となりますよう!



駒知安町新年交礼会。  
昨年はG20という大きな行事を担い大成功の駒知安町。雪が少なく苦戦?今年も世界に羽ばたく一年でありますよう!



泊原発冬季防災訓練が行われる。

今年は雪崩で避難路の確保が難しい、と設定しての訓練だったが、実際には雪は極少なく、大変天気の良い「訓練日和?」だった。事故はどうな気象下で起こるかわからないものの。写真は余市町の水産試験場での除染訓練の様子。



駒知安町の雪トピアが開催される。  
いつなく雪が少なく、穏やかで天候に恵まれた。外国人の皆さんも沢山。写真は駒知安町峰下の駐車場に作られた雪像たち。もう一つの雪トピアだ!

## 各種委員会

水産林務常任委員会

## 主な役職

## 議員連盟

食と観光対策特別委員会委員長  
季節労対策議員連盟事務局次長  
林業活性化議員連盟副会長  
農政議員連盟  
北海道教育議員連盟事務局長

## 党役員

立憲民主党第4選挙区代表代行



## 立憲民主党4区総支部代表代行

北海道議会議員 市橋修治事務所  
お気軽に訪問下さい

〒044-8691 虻田郡俱知安町北1条東1丁目  
TEL.0136-21-3008 FAX.0136-21-3009  
自宅 〒046-0003 余市町黒川町9丁目70番地15  
TEL.0135-23-8130  
Website <http://ichihashishoji.web.fc2.com/>  
E-mail [ichihashi1949@tulip.ocn.ne.jp](mailto:ichihashi1949@tulip.ocn.ne.jp)